科目名	母性看護学実習 Maternity Nursing Practice			担当教員 (研究室番号)	永見 桂子 (102) 大平 肇子 (104)		教員への連絡方法 (メールアドレス)							
履修 年次	2年次	科目区分	専門科目			選択区分	コース 必修	単位数 (時間)	6 (270)	授業 形態	実習	科目等 履修生 遠隔授業	否否	
科目目的	周産期の母子とその家族への看護実践と事例検討を通して、高度なアセスメント能力、卓越した実践能力を養い、周産期母子援助に関する教育、相談、関係者間のコーディネーション、研究、倫理的調整を自律的に実践できる能力を養う。													
到達目標														
成績評価方法 (基準)		実習内容、実習記録、出席状況、カンファレンスへの参加状況等を総合的に評価する。												
教科書		必要時、紹介します。												
参考書等		必要時、紹介します。												
受講者への メッセージ		常に研究的視点をもち、臨地での体験で得られた知見を発展させることを通じ、母性看護専門看護師に求められる高度な実践能力の修得を目指しましょう。主体的・積極的な取り組みを期待します。												
備考														

## 学習内容

- 1 周産期の母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に応じた実践能力を養う
  - ・適宜、スーパービジョンを受けながら、看護実践と事例検討を行い、周産期の母子とその家族へのプライマリケアと緊急事態に
  - 援助技術を実践的に学ぶ。
- 2 専門領域におけるケア提供者への教育活動を実践する能力を養う
  - ・実習病院・看護部の方針を踏まえたうえで、病棟や外来の看護ケアの質を高めるための課題を明確にし、周産期の母子とその家族 へのケア提供者に対する教育活動を自律的に実践する能力を養う。
- 3 専門領域におけるケア提供者への相談活動を実践する能力を養う ・クリティカルな状況にある周産期の母子とその家族へのケア提供者が抱える顕在的・潜在的問題を把握し、理論的分析に基づき コンサルテーションを実践する能力を養う。
- 4 ケアチームにおける連携・協働・調整能力を養う
  - ・クリティカルケアを円滑に行うために必要なケアチームにおける看護職者の役割を理解し、他専門職種との連携・協働について 実践的に学ぶ。
  - ・クリティカルな状況にある周産期の母子および家族のケアシステムを理解し、コーディネーターとしての役割遂行能力を養う。
- 5 周産期の母子および家族のケア場面における倫理的問題を判断し、その解決に向けて調整・実践できる能力を養う ・周産期の母子とその家族のケアにおける当事者やケア提供者の抱える倫理的な問題・葛藤を倫理原則を用いて分析し、主体的に 倫理的意思決定を行い、適切に支援できる能力を養う。
- 6 研究的なアプローチ能力を養う ・周産期の母子とその家族への看護実践を通して、研究的視点をもって、より質の高い看護を実践していくための業務管理上の課題 を見出し、クリティカルな状況にある周産期の母子とその家族に有効な看護方法を探究する能力を養う。